

二〇〇九年度 日本語・日本文学科 卒業研究(論文) 題目

秋成『藤篋冊子』の和歌と『源氏物語』

曾我物語と和歌

桐野夏生論

中国の食に関する思想

和歌に見られる「心」について

『平家物語』における武士の死に関する表現について

『うつほ物語』琴の一族について

現代作家論

日本女性アイドル論

「江戸時代」を舞台にした時代物小説について

煉丹術

小野篁をめぐる物語について

太宰治『新釈諸国噺』論

『枕草子』日記的章段について

『東海道中膝栗毛』における食品語彙について

「働くこと」と「愛すること」

『安野モヨコの「働きマン」を通して』

『天草版伊曾保物語』の待遇表現の研究

村屋木の実

岡田友里恵

佐藤 麗

戸井 梨絵

飛岡 君枝

青柳 まゆ

阿部 朋恵

荒木 理花

五十嵐真実

石澤 侑子

石田 香織

伊東明日菜

稲重丸 彩

稲村いづみ

井上菜々子

今村 瑞穂

上坂 敦子

大奥論

ダンスミュージックとサブカルチャー

伝説・伝承・説話のなかの災害

伊勢物語考

本多孝好論

小型国語辞典における語彙の出現と消滅

為永春水『十杉伝』論―善と悪の描写を中心に―

有島武郎論

「神殺し」について

香川景樹論

異類女房譚の研究

児童文学論

松尾スズキ論

松浦宮物語論

説話における「動物」の表現と思想について

『源氏物語』における愛執の罪について

単語の中に見られるアクセント位置の変化と多様性

―外来語を中心に―

大奥論

梅野 晶子

遠藤 珠江

遠藤 葉子

大島由里衣

大谷 春奈

沖崎 未来

尾崎あゆみ

小野沙耶加

小野寺景子

橘内 悠佳

木村 啓

久木 早織

工藤 碧

齋 枝里子

齋 優美

佐々木由佳

佐藤 綾香

佐藤 綾香

現代女性作家論

女性の名前

『枕草子』日記的章段の考察

宝塚歌劇と少女漫画

竹取物語論

古文運動と伝奇小説

『枕草子』日記的章段について

高村薫論―『季欧』及び合田シリーズに関する考察

現代に表象されるスサノヲ（オ）像について

『炎の屋敷様』論

山田風太郎『エドの舞踏会』論

『源氏物語』明石一族について

人間関係における呼称の変化

市川拓司論

笑いについての文化論

東野圭吾論

神隠し論

中国医学と陰陽五行説

『源氏物語』物の怪について

遠藤周作論

鈴木牧之論―『北越雪譜』について―

中世日本説話における母子関係について

佐藤 千夏

佐藤 知香

柴田恵梨子

下山 智子

末武 史織

杉本 智美

鈴木 春菜

高田佳奈美

高橋かずみ

田中奈保子

谷山祐香里

田村 実央

千葉あゆみ

対馬 梨恵

土田 絢子

筒井 麻美

土井 彩華

堂腰 弥生

永井 彩

中垣 亜衣

長嶋明日香

中島 彩虹

男性作家と女性作家の共同作について

兄妹婚姻譚について

久生十蘭『魔都』論

本居宣長『手枕』論

夏目漱石の『夢十夜』論 〓なぜ漱石は「夢」という

題材を用いて作品を書いたのか

島本理生論

谷崎潤一郎『途上』論

『源氏物語』における雲居雁について

江戸川乱歩『屋根裏の散歩者』論

『生贄』と「神」における関係性について

泉鏡花『眉かくしの霊』論

『器物』の怪異について―付喪神を中心に考える―

堤中納言物語論

うっほ物語における正頼一族について

ファンタジー論

〓上橋菜穂子『守り人シリーズ』をめぐって

浅井了意『伽婢子』における女性観について

アニメ論―ロボットアニメを中心に―

『古今和歌集』における詠み合わせについて

〓「うめ（梅）」と「うぐひす（鶯）」の関係をめぐる

城平京論―少年漫画の中のミステリ論―

中仙道 彩

中野加奈子

永野 舞子

西方 博子

沼澤 彩華

野崎 千尋

野並 千尋

萩野こず枝

平井 里沙

藤井 琴枝

藤川奈津未

藤間 絢子

本田 奈那

牧野 萌絵

升田 麻美

益山かんな

松浦まゆ子

水津みな美

武藤 玲子

『とりかへばや物語』の女君をめぐって

『万葉集』における秋を表す語について

『うつつは物語』における源氏の女君たち

野田秀樹論

現代日本語における痛み・不快の擬態語―日本語母語

話者と日本語学習者の理解と運用について―

鈴木牧之研究―『秋山紀行』について―

『宇治拾遺物語』―「鬼に瘤取らるる事」について

『うつつは物語』の後妃について

『藤女子』大学国文学雑誌』投稿規程

1 「藤女子」大学国文学雑誌」は藤女子大学日本語・日本文学会（日本語・日本文学科）の機関誌であり、会員からの日本文学・日本語学・漢文学・国語教育関係についての論考を募集します。

2 投稿論文の枚数は、四〇〇字詰原稿用紙三〇枚から四〇枚を基準とします。

3 投稿論文は完全原稿とし、注の形式は既刊のものに準じてください。

4 投稿論文には連絡先を明記のうえ、本会事務局にお送りください。原稿は可能なかぎり電子ファイルとし、打ち出した原稿一部を添えて投稿してください。また、その際、四〇〇字に換算した枚数も書き添えてください。

5 投稿の採否は、編集委員会にご一任ください。なお、原稿はお返ししません。

6 投稿は随時受け付けます。但し、雑誌発行は年二回の予定です。

7 論文掲載の場合は、本誌五部と抜き刷り三〇部をお渡しします。

8 「藤女子」大学国文学雑誌」に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとします。

山川沙知子

山崎 理紗

山田ちひろ

山田 奈岐

山本明香理

横倉 李奈

吉岡亜沙美

若林 舞子